

★開館時間

4月～9月	14:00～22:30
10月～3月	13:00～21:30



★休館日

- ・毎週月曜日・火曜日
※5月3～5日、8月14～16日は月・火も開館します。
その他、お問い合わせ下さい。
- ・メンテナンス休館：5月第3週月曜日～第4週金曜日
- ・年末年始休館：12月28日～翌年1月3日

★入館料

	昼間	夜間	年間パスポート
大人	300円	500円	1,000円
小人	200円	300円	600円

※入館時間で料金が切り替わります。

夜間：4月～9月は18時以降の入館、10月～3月は17時以降の入館。

※小人：小・中学生。小学生未満は無料です。

※当日中の再入館は無料、昼夜で追加料金はかかりません。

※パスポートは発行日より1年間有効です。

★プラネタリウム

投影日	開館日の土曜日・日曜日・祝日
投影時間	15:00、16:00、17:00（約10分間）
定員	10名（入館者先着順）

※受付にて整理券を配布しています。

※入館料のみで観覧できます。



★天体観望会

開館中は晴ればいつでも、天体観望会を開催しています。
国内最大級の115cm反射望遠鏡等を用いてスタッフがご案内。
昼間は明るい星を、夜間は季節の見ごろ天体を観察できます。
※望遠鏡を見る場所（ドーム）の気温は、屋外と同じです。

月明かりの有無で、星空や天体の見え方が変わるため、
夜空の楽しみ方によって、おすすめ期間（目安）があります。

- ・月を見る：「新月から3日後」～「満月から3日後」
- ・満天の星空：「下弦の月」～「新月から3日後」

お問い合わせ先：

りくべつ宇宙地球科学館（銀河の森天文台）

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇達路

TEL 0156-27-8100 FAX 0156-27-8102

<https://www.rikubetsu.jp/tenmon/>



★交通アクセス

自動車で

北見市から 1時間/約60km
帯広市から 2時間/約100km
釧路市から 2時間20分/約120km
旭川市から 3時間30分/約180km
札幌市から 4時間/約280km
※高速道路を含む

空港から

女満別空港から 車で 1時間20分/約70km
帯広空港から 車で 2時間10分/約120km
釧路空港から 車で 2時間/約110km
新千歳空港から 車で 3時間30分/約250km
※高速道路を含む

JR・バスで

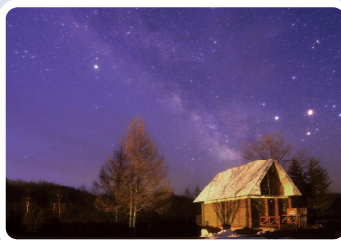
JR帯広駅 ⇒ 【十勝バス】 2時間50分

JR池田駅 ⇒ 【十勝バス】 1時間50分

JR北見駅 ⇒ 【北見バス】 1時間30分

各バス終点「陸別」で下車 ※バス停：道の駅前

道の駅「オーロラタウン93りくべつ」から 銀河の森天文台まで 4km
（タクシー：約10分、徒歩：約1時間）



銀河の森コテージ村

- ・コテージ 6人用～10人用 全7棟
- ・18,000円～（連泊割引あり）お問い合わせ下さい。

【IN】13:00 【OUT】10:00

TEL 0156-27-4040 FAX 0156-27-4041

<https://www.rikubetsu.jp/cottage/>



銀河の森天文台

北海道陸別町りくべつ宇宙地球科学館

RIKUBETSU
SPACE AND EARTH
SCIENCE MUSEUM

はるか彼方の見知らぬ宇宙へ...

月明かりのない夏、凍てつく冬。
夜空を仰げば、淡く光る天の川がアーチを描きます。

りくべつ宇宙地球科学館（愛称：銀河の森天文台）は、
周りに森が広がる約370mの小さな山の上にあり、
誰もが気軽に立ち寄り、星空を楽しめる、開かれた天文台です。

開館中は天体観望会を行い、四季折々見ごろを迎える天体たちや、
月の満ち欠けで表情を変える星空をご案内しています。

月、惑星、美しい恒星、星の群れ、淡い星雲、はるか彼方の銀河...
望遠鏡をのぞくと見知らぬ世界が広がります。

日本一寒く、星空のきれいな町で、
深呼吸をするように、宇宙を眺めてみませんか。



INFORMATION

陸別町は、環境庁（現：環境省）より
昭和62年度に「星空の街」に選定され、平成9年度には「星空にやさしい
街10選」に認定されました。

この自然環境豊かな特性を活かし、
星空を通して、自然に親しんでもらうよう
「りくべつ宇宙地球科学館（愛称：銀河の森天文台）」は建設され、平成10
年7月7日にオープンしました。



当天文台は一般公開型天文台としては日本最大級の115cm反射望遠鏡
（愛称：りくり）をはじめ、30cmクラスの小型望遠鏡4基、15cm大型双眼鏡、4
連太陽望遠鏡等を備える公開天文台です。

1F展示室には、銀河の森、オーロラ、南極、宇宙のパネル展示、宇宙につ
いての体験学習ができるコンピューターや70インチモニター、プラネタリウム、
人工オーロラ発生装置、陸別しばれ模型、南極ライブモニター等があります。

2Fには大型望遠鏡観望室（ドーム）、屋上には
小型望遠鏡観測室（スライディンググループ）や、大
勢の方が星空を楽しめる屋上広場があります。

また、2F総合観測室には、名古屋大学宇宙地
球環境研究所の「陸別観測所」と国立環境研
究所の「陸別成層圏総合観測室」が併設されて
おり、主に成層圏・対流圏の大気やオーロラ等
の研究を行っています。



▲大型望遠鏡「りくり」/ドーム
迫力の115cm反射望遠鏡が、皆さんをはるか彼方の宇宙へご案内します。通常の天体観望
会のほか、天文現象・見ごろ天体を銘打った観望会など、様々なイベントも開催しています。



▲観望風景／屋上広場
屋上広場では、自由にイスを広げてゆっ
たりと星空を楽しめます。飲食も可能。



▲低緯度オーロラ／2003年10月29日撮影
約11年周期で太陽活動の活発な時期は、陸別
町からも北の空に赤いオーロラが観測できます。